

寂光院じやくくわうめん

〔草生村にあり、前編に見へたり。此地時鳥の名どころにして、卯月の頃都下の騷客こゝに宿して美賞す〕

女院のおはします所え尋参らせて、あはれにむかしおぼえて、

家集

今や夢むかしや夢とまよはれていかに思へどうつゝともなき 右京太夫

世中に事有て筑紫つくしのかたにながされて侍りけるが、後にめしかへさ

れ侍りて、建礼門院大原けんれいもんゑんにおはしましけるに参てももの申けるにつけ

ても、さまざま思ひ出る事おほくていみじうかなしくおぼえ侍りけ

れば、

玉葉

けふかくてめぐりあふにも悲しきは此世へだてしわかれ成けり 僧正全真

霜やけや阿波あはの内侍のなれる果 鷺水

火壺ひつぼ、雨壺あまつぼ、風壺かぜつぼ

〔井出村江文社の後山にあり。山間に自然の三窟にして石の蓋あり、早の時雨壺に向ふて雨

を禱るに感応あり。此地魔所なりとて土人怖れをなすなり〕

龍華越りうげ ごとえ

〔大原おほはらの奥小出石村おくしでいしむらの北きたにあり、山城峠やましろうたうげともいふ、是山城近江あふみの堺さかいなり。其北きたに橡生村とちふありて溪川せきせんを帯たる、是比叡山ひえいざんと比良嶽ひらがだけとの界さかいなり。川かわの下したに龍華村りうげむらあり、橡生村とちふもむかしは龍華りうげの中なかなるべし、故ゆゑに龍華橡生りうげとちふといふ〕

静原峠しづはらたうげ

〔江文えぶみの社やしろの西にしにあり。此坂こゝろを越こて長谷岩倉いはくらに至いたる、それより鞍馬くらまに至いたる、戊亥つとせの方かたに当あたつて凡一里半許およそな

り